

公益財団法人新潟市開発公社
平成24年度第1回評議員会議事録

1 開催日時

平成24年6月7日(木) 13時30分から13時57分まで

2 開催場所

白山会館1階「羽衣」 (新潟市中央区一番堀通町1-1)

3 評議員現在数及び定足数

現在数 10人、定足数 6人

4 出席評議員数 7人

(出席) 石川 昇 評議員、笠原 一男 評議員、加藤 和範 評議員、金内 利夫 評議員、
長井 亮一 評議員、中野 繁子 評議員、中屋 昭夫 評議員

(欠席) 荻荘 誠 評議員、小黒 昭榮 評議員、小林 芳則 評議員

5 出席理事及び監事

(理事) 鈴木 廣志 理事長(代表理事)、南 正平 専務理事(代表理事)、
高井 忠則 常務理事(業務執行理事)

(監事) 大谷 勝彦 監事、村上 浩世 監事

6 その他の出席者

(事務局) 鳴海 俊明 事務局長、高橋 ひろ子 事務局次長、福田 悟 総務課長、
山崎 美香 総務課長補佐、相生 健 総務課総務企画係長、
村井 卓 総務課経理係長、丸山 勉 主査

(所属長) 石田 孝 スポーツ・レジャー課長、山崎 貞夫 施設整備課長、
池田 隆 緑化推進室長、青木 上 水族館長

7 決議事項

議案第1号 公益財団法人新潟市開発公社 平成23年度事業報告及び決算の承認について

議案第2号 公益財団法人新潟市開発公社 評議員の補欠選任について

議案第3号 公益財団法人新潟市開発公社 理事の補欠選任について

8 議事の経過の要領及びその結果

(1) 出席者の確認及び議長の選出

山崎総務課長補佐から、出席評議員、理事、監事、事務局、所属長の紹介があった後、鈴木理事長が挨拶をし、配布議案の確認が行われた。その後、定款及び評議員会運営規程に基づき長井亮一評議員が互選により議長に選出され、議長が開会宣言を行った。

(2) 決議の確認及び議事録署名人の選出

議長が、評議員会運営規程に基づき事務局へ出席状況の報告を求め、山崎総務課長補佐から定款及び評議員会運営規程に規定する評議員の過半数の出席を満たしており、本評議員会は有効に成立している旨の説明があった。

議事録署名人は定款及び評議員会運営規程に基づき長井議長並びに議長の指名により笠原評議員及び金内評議員とし、議案の確認の後、審議に移った。

(3) 議案第1号 公益財団法人新潟市開発公社 平成23年度事業報告及び決算の承認について

議長が上記議案について、評議員会運営規程に基づき理事からの説明を提言した。これを受け、鈴木理事長は評議員会運営規程に基づき議長の許可を得て、事務局から説明をさせることとし、鳴海事務局長から次のとおり説明があった。

【事業報告の説明】

平成23年度は、4月1日に新法人への設立登記を行い、公益財団法人としての新しいスタートを切った。

事業概要としては、定款に定める公益目的事業を主に実施するとともに、体育施設では、ボランティア体制作りへの取り組み、水族館では、リニューアルに向けた準備、緑化施設においては、平成24年度からの指定管理者として再指定を受けた。また、平成22年度に引き続き、東北地方太平洋沖地震への対応として、避難所の開設、他館への支援、電力不足を補うための節電対策を行った。

個々の具体的な内容として、「健康増進及びスポーツ振興事業」においては、スポーツ教室事業及び施設の管理運営を行った。スポーツ教室では、フィットネスコース、生涯スポーツコース、キッズ・親子コース、競技スポーツコース、体力測定コースに加え、最新プログラムとして、コアリズム、ボディーコンバット&ショート、バレトン等の教室を開催した。教室の開催にあたっては、震災により施設が避難所となったため、開催を中止とした教室や、当初計画していた回数の教室開催ができず、1回単位の教室に変更して開催を行った。また、スポーツイベントとして、国士舘大学男子体操演技会、リレーマラソン、卓球大会等のイベントを開催した。新潟市6区にある指定管理施設の体育施設については、誰もが安心、安全に施設を利用できるよう管理運営するとともに、地域貢献、ボランティア体制作りに尽力した。利用状況については、施設が避難所として利用されたこと、屋外施設においては、市と協議の結果、節電のためナイター施設の利用制限したことにより、前年に比べ減少した。

「水生生物とその生息環境に関する学術知識の普及事業」では、指定管理施設である新潟市水族館において、常設展示に加え、特別展示「春期特別展 新潟市レッドデータブックの水生生物」や「夏期特別展 海の生物<色のみみつ>展」を開催し、地球環境や生態系の持続的発展に貢献できる情報を発信するとともに、種の保存や自然環境問題への啓発を行った。また、平成24年度に実施する施設・設備の老朽化に伴うリニューアル工事の準備を行った。入館者数については、例年規模の利用があった。

「都市緑化、公園緑地及び河川環境に関する啓発、利用促進及び保全事業」では、緑化推進及び啓発を目的に、植栽に必要な材料等の支給助成や金銭助成を行った。また、指定管理施設である新潟市天寿園、鳥屋野交通公園を管理するとともに信濃川にある係留場の管理も行った。なお、係留場事業においては、施設の維持を目的に、信濃川の川底に堆積している土を排除する工事を実施した。

「霊園施設の建設及び経営事業」では、太夫浜霊苑の管理運営を行い、24墓域の再貸付を行った。

「収益事業」について、大山台訓練棟の貸付け、開発公社自社ビルの一部貸付け、長嶺マンションの貸付け、市有地である鐘木の土地の貸付け等4不動産の貸付け管理を行った。

「その他収益事業」は、公益事業とは区別され、かつ法人税が課税される事業となる。

「指定管理事業」では、新潟勤労者総合福祉センター、新潟産業振興センター、白山公園駐車場、新潟市海辺の森、濁川公園分区園、新潟市しろね大風と歴史の館の6施設について指定管理者として管理した。そのうち、新潟勤労者総合福祉センターについては、震災によるスクリーニングの会場として休館したため、利用者が減少した。

「施設管理に付帯する事業」では、管理施設に付帯する食堂、売店、自動販売機の管理事業を行った。

「その他の事業」は、市からの受託事業、公共建築物の工事・検査事業、特定優良賃貸住宅等の入居審査事業、病害虫防除事業に加え、7か所の駐車場貸付事業を実施した。

【財務諸表の説明】

貸借対照表について、流動資産は、現金預金、未収金、水族館のノベルティグッズ及び健康クラブ事業で取り扱っている食品等の貯蔵品、保険料の前払いである前払金で、合計7億7,275万7,367円となった。

固定資産は、基本財産、退職金を支払うための資金である退職給付引当資産、事業資産の再取得のための資金である減価償却引当資産である特定資産、事業に要しているその他固定資産で、合計25億6,258万3,053円となった。これらの資産総額は33億3,534万420円となった。

流動負債は、未払金、前受金、短期預かり金で、合計3億8,435万7,634円となった。

固定負債は、引当金、霊園使用者へ返還義務のある永代使用料のその他固定負債で、合計7億2,237万5,167円となった。これらの負債総額は11億673万2,801円となった。

資産を負債から差引いた正味財産は、22億2,860万7,619円となった。

正味財産増減計算書の経常収益について、合計は31億1,780万4,893円となり、経常費用は、合計31億3,260万224円となった。差引き当期経常増減額は、1,479万5,331円の赤字となった。原因としては、公益法人会計基準に基づき、今年度から賞与引当金を3,611万81円計上したためである。

正味財産増減計算書の内訳書について、一つ目の要件として収支相償については、各公益目的事業が赤字かつ公益目的事業の計も赤字であることで要件を満たしている。

また、もう一つの要件である公益目的事業比率が事業費の全体の50%以上であることは、公益目的事業費の計22億3,090万4,746円に対して、全事業費が31億3,260万224円となっていることから、比率にすると71%で、要件を満たしていると説明があった。

続いて鈴木理事長から、監事による監査を平成24年5月17日に受けた旨の報告があり、村上監事から平成23年度における業務執行は適正に行われていること、財政状態及び会計決算については財務諸表に適正に表示されているものと認めた旨の監査報告があった。

説明終了後、質問、意見等はなく、審議の結果、本議案は出席評議員満場一致で原案どおり承認された。

(4) 議案第2号 公益財団法人新潟市開発公社 評議員の補欠選任について

議長が上記議案について、評議員会運営規程に基づき事務局からの説明を提言し、これを受け、鳴海事務局長から次のとおり説明があった。

① 辞任する評議員及び辞任日

「小林 芳則」 平成 24 年 6 月 7 日辞任

② 後任の評議員として補欠選任する者及び就任日

「神田 健一」 平成 24 年 6 月 8 日就任

③ 任期について

定款第 12 条第 2 項の規定により、前任者を引き継ぎ、平成 26 年度に関する定時評議員会の終結の時まで

説明終了後、質問、意見等はなく、審議の結果、本議案は出席評議員満場一致で原案どおり可決された。

(5) 議案第 3 号 公益財団法人新潟市開発公社 理事の補欠選任について

議長が上記議案について、評議員会運営規程に基づき事務局からの説明を提言し、これを受け、鳴海事務局長から次のとおり説明があった。

① 辞任する理事及び辞任日

「川崎 弘」 平成 24 年 5 月 25 日辞任

② 後任の理事として補欠選任する者及び就任日

「渡邊 英愼」 平成 24 年 6 月 8 日就任

③ 任期について

定款第 24 条第 3 項の規定により、前任者を引き継ぎ、平成 24 年度に関する定時評議員会の終結の時まで

説明終了後、質問、意見等はなく、審議の結果、本議案は出席評議員満場一致で原案どおり可決された。

以上をもって、全ての議案の審議を終了したので、議長は 13 時 57 分閉会を宣言した。

上記の議事の経過の要領及びその結果並びに報告事項が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員 2 人は記名押印する。

平成 24 年 6 月 7 日

公益財団法人新潟市開発公社

評議員会議長

長井 亮一

評 議 員

笠原 一男

評 議 員

金内 利夫